

2020年05月12日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【新型コロナウイルス問題は、予断を許さず】

新型コロナウイルス問題で、その出口戦略が、多方面から湧き出している。

世界を見ると、規制が緩和された国の様子が報道されている。

例えば、中国では、多くの人々が観光地に出向いている様子が報道されている。

そういった映像を見ると、

「今後、二次感染の恐れは無いのだろうか・・・？」

といった疑問が出てくる。

日本でも、

「緊急事態宣言が、いつ解除になるのか？」

といった話題であふれている。

様々な規制が、これだけ続けば、そういった期待も出てきて当たり前。

+++++

東京などの特別な地域は別にして、東北などの感染者の少ないとされる地域では、それぞれの知事の権限で、規制の解除や、規制の一部解除を実施している。

だから、人々の気持ちとすれば、

「近いうちに、解除になるだろう」

といった期待感が高まり、少し高揚した気分にもなるのだろう。

+++++

しかし、水を差すつもりは無いのだが、本当に大丈夫なのだろうか？

アビガンや、レムデシビルといった薬の承認が話題になっているが、その効果は、確実のものではない。(まだ断定できない)

それらの薬は、もともと別の病気のために開発されたものであり、流用が可能といった理由で試験的に使ってみたところ、一定の効果が認められたに過ぎない。

もちろん、今後の効果を測定すれば、特効薬と認められる可能性はあるのだが、今の時点では、なんとも言えない。

ワクチンも、その開発が急がれるが、現時点では、まだ存在しない。

つまり、二次感染が拡大する場合には、特効薬が無いのだから、再び、緊急事態宣言による規制、といった対応を取らざるを得ない可能性がある。

+++++

このような状況下で、一部の地域では、規制が解除され、一部の地域では、規制されたままでは、不公平感がつのる。

学校の対応にしても、一部の地域では、休校状態が続き、一部の地域では、授業が始まる、といったバラバラの状況。

スポーツでは、高校のインターハイ（全国大会）や、中学の全国大会は、中止が決定しているが、野球の甲子園は、開催の可能性を残している。

高校野球ファンには、申し訳ないが、夏の甲子園も、高校のインターハイ（全国大会）と同様に、中止するべき、と考えます。

全国民に負担を求めているのだから、高校野球だけが別格（特別）といった対応は、納得がいかない。

+++++

今回の新型コロナウイルス問題では、一部の国民の負担が極端に重く、一部の国民の負担は極端に軽い。

例えば、居酒屋を経営する人や、居酒屋に勤務する人は、負担が極端に重い。

医療関係を除く、ほとんどの公務員の負担は極端に軽い、と言って良い。

+++++

今回の新型コロナウイルス問題での政府の対応は、不公平感を、非常に高める結果となっている。

このような感染症の問題は、ある種の「有事」であり、戦時中と同様に、現政権の支持が高まり易い。

にもかかわらず、日本の対応は、他の国々に比べて、最低水準と言える。

+++++

結論として、個人的には、新型コロナウイルス問題に関しては、「予断を許さず」と構えています。

浮かれてはいけない、と自戒しています。

+++++

(2020年05月12日東京時間14:55記述)